

令和5年度 第1回八代市総合教育会議 会議録

(令和5年6月13日)

令和5年度 第1回八代市総合教育会議 会議録

【開催日】 令和5年6月13日（火）

【場所】 八代市立博物館未来の森ミュージアム 講義室

【出席者】 中村博生 市長
北岡博 教育長
渡邊裕一 教育委員
早田 蛍 教育委員
澤村 互寛 教育委員

【出席職員】 中 勇 二 教育部長
松川由美 教育部次長
田中智樹 教育部次長
下津恵美 教育政策課長
陣内敬貴 教育政策課指導主事
田北佳一郎 学校教育課長
黒木崇博 学校教育課指導主事兼指導係長
瀧川尚樹 学校教育課指導主事
永野祐樹 学校教育課指導主事
稲本健一 教育部理事兼教育施設課長
高崎博文 生涯学習課長
櫻井幸枝 教育サポートセンター所長
松井葵之 博物館未来の森ミュージアム館長
上角愛美子 博物館未来の森ミュージアム副館長
山崎 撰 博物館未来の森ミュージアム副館長補佐兼
学芸係長
沖田良三 市長公室長
浅川公利 秘書広報課長

【事務局】 萩本誠子 教育政策課教育政策係長
松本和美 教育政策課上席参事

【協議事項】 (1) 「第2次八代市総合計画第2期基本計画八代市重点戦略
(教育関係)」について
① 「ICT教育日本一」を目指し「学校情報化優良校」認定
率100%を達成
② 学校トイレ洋式化の推進など安全・安心で快適な教育環境
の整備
③ 人生100年時代に向けたリカレント教育の支援
(2) 魅力ある博物館づくり

1 開 会 (午後1時20分 開会)

2 市長あいさつ

3 協議事項

(1)「第2次八代市総合計画第2期基本計画八代市重点戦略(教育関係)」について

①「ICT教育日本一」を目指し「学校情報化優良校」認定率100%を達成
田北学校教育課長 資料により説明

②学校トイレ洋式化の推進など安全・安心で快適な教育環境の整備
教育部理事兼 資料により説明
稲本教育施設課長

③人生100年時代に向けたリカレント教育の支援
高崎生涯学習課長 資料により説明

<質疑応答>

早田教育委員

不登校対策の課題解決のためにICTを利活用しているとのことだが、各家庭のインターネット環境の格差をどのように捉えているか。また、EdTech推進に係る重点取組である学力向上の推進については、学びの主体を児童生徒として取組を進めているとのことだが、主体を児童生徒とした場合、その評価はどのように行うのか。さらに、ICT授業サポーターによる授業改善に向けた支援を充実するために行う実態把握や好事例情報提供については、どこからどのように抽出するのか。

次に、リカレント教育に関するITキャリアアップ講座の具体的な内容について伺いたい。

瀧川学校教育課
指導主事

2年前に行った調査によると、自宅でインターネット環境を利用して学習に取り組むことが可能な児童生徒の割合は約9割であった。直近の調査を行っていないため、そこからさらに向上している可能性もある。その反面、インターネット環境がない家庭もあるため、その場合児童生徒は、学校内や公民館あるいは図書館等のインターネット環境を利用して学習に取り組んでいる状況である。しかしながら、地域によっては、環境整備自体がなされていないところもあるため、各学校においては、そのような格差を埋めるため、課題の出し方を工夫している。

陣内教育政策課
指導主事

I C T授業サポーターからは、毎月業務日誌による報告が行われている。報告件数は大量となっているものの、その内容を見ると、授業の質の向上に繋がっているとまでは言えない。そこで、子供同士が交流の中でI C Tを利活用することで、子供たちの考えが広がりまた深まるような効果的な取組を行い、授業改善に繋がるようI C T授業サポーターと相談しているところである。

また、教育政策課でも、学校からの依頼を受けて研修を行っているが、I C Tの深い知識がないと授業で利活用できないと思っている先生方が多い。そこで、授業でこういう使い方をしたいが、どうすればいいかなど、先生方から相談してほしいと伝えており、少しずつ問い合わせも増えてきている。

永野学校教育課
指導主事

学びの主体を児童生徒へということで、その効果を客観的に測るために、八代市及び熊本県並びに全国で各種の学力学習状況調査が行われている。そのなかで、I C T活用に関連した質問があるので、実際の児童生徒の回答を見取っていく必要がある。また、それが実際にどのように学力に結びついていくかを併せて検討しなければならないと考えている。

さらに、本市で導入しているスタディサプリI C T学習支援ツールについて、企業と連携し各学校での活用状況を把握するなど、効果を測っていききたい。

高崎生涯学習課長

I Tキャリアアップ講座は、ウェブデザイン作成、動画作成、ホームページ作成、アプリ作成等、就労や仕事に役立つスキルの向上を図ることを目的として開設している。

早田教育委員

授業におけるI C Tの活用について、先生方から使用方法など相談してほしいとのことだったが、この場合、先生方は誰に相談できる体制となっているのか。I C T授業サポーターが対応しているのか。

陣内教育政策課
指導主事

I C T授業サポーターは10名おり、1人当たり4校程度を担当しているが、学校に常駐しているものではないため、教育政策課I C T教育推進係への直通電話や、グループウェアミライム等で対応している。

早田教育委員

学びの主体を児童生徒としたとき、その評価は学力学習状況調査の中から行うとのことだったが、本市で行うアンケート等を基にするとの認識でよいか。

永野学校教育課
指導主事

市及び県並びに全国で実施している質問調査において検証していきたいと考えている。

渡邊教育委員

ICT教育については、加速度的に推進されていて大変うれしく思う。

まず、重点取組の成果指標のなかに、学校内におけるICT教育の環境整備に対して、充実していると感じる保護者の割合についての記載があるが、これはどのように把握しているのか。また、不登校対策として具体的にどのようにICTを活用しているのか。さらに、学校情報化認定制度において、学校情報化先進地域の認定は受けているが、現時点で該当校がない学校情報化先進校については、今後認定を目指していくのかの三点を伺いたい。

次に学校トイレの洋式化の推進については、洋便器率の目標値を80%に変更し推進されているが、改修を行う学校の選定順位はどのようになっているのか。また、洋式化100%達成はいつ頃を予定しているか。

最後に、リカレント教育については素晴らしい取組がなされているが、各講座ともに定員以上の申込みがあるとのことだが、受講者数を増やすことは難しいのか。またPR方法についても伺いたい。

瀧川学校教育課
指導主事

ICT教育環境整備に対する保護者の認識については、企画政策課において調査を行っているため詳細は把握できていない。

次に、ICTを活用した不登校対策については、特に長期に欠席をしている児童生徒への学習保障の観点から、自宅においてスタディサプリやeライブラリといった学習支援ツールを活用している。昨年6月、自宅等においてICT等を活用した学習を行った児童生徒の指導要録上の出席扱いに関するガイドラインを作成した。これに基づき、中学校においてTeams等を使い授業に参加したり、担任とのやり取りを行うことで出席扱いとなった生徒が2名いた。今年度も、学校に登校することは難しいが、スタディサプリを活用し毎日の学習に取り組んでいるという中学校の事例が挙げられている。このように、学習支援ツール等を活用して不登校児童生徒の学習保障や教育相談を行いたいと考えている。

最後に、本市の教育課題及びICTの活用状況等に応じて、研究発表を行うICT教育推進モデル校や推進校を指定しているが、それらの研究、取組を各学校に広げることでICT教

育を推進していきたいと考えているため、学校情報化先進校の認定については目指していない。

稲本教育部理事兼
教育施設課長

学校トイレについては、これまで建築年数の古い順、生徒数・便器数の改修が多い順に、床、壁、天井の改修工事を行ってきた。今回、令和7年度末までに洋便器率の目標値を80%と高く設定したが、令和7年度以降の改修となる全ての学校を訪問し、要望等を伺った。その際、生徒数の減少に伴い洋便器の数をあまり必要としていないことや、逆に掃除が困難になっているとの声もあった。そういった学校の意見等も参考に、また現在本市教育委員会において検討している学校規模適正化の方向性も踏まえて改修を行っていきたい。何よりもまず、児童生徒の満足度100%を目指したいと考えている。

高崎生涯学習課長

リカレント教育関連講座については、現状、定員以上の応募があっているため講師の調整が必要となっている。また講座によっては数多くのスタッフを要するものもある。せっかくの人気講座でもあるし、また重点戦略に掲げている事業でもあるので、受講者アンケート結果等も踏まえ、できる限りの対応をしていきたいと考えている。

また、周知方法については市ホームページや広報やつしろが中心となるが、はじめてのスマホ講座については、各校区を回るものであるため、各校区コミセンだよりも掲載を依頼し、多くの方に受講いただけるよう周知に力を入れている。

渡邊教育委員

授業参観日でタブレット等を使用した授業を積極的に公開されると、ICT環境整備の充実に対して、さらに保護者に実感してもらえらると思う。以前、不登校児童生徒がTeams等で自宅と学級を繋ぎやり取りを行うことで、学校に復帰した事例があり、ICTは様々な活用方法があるのだなと感じた。

学校トイレについては、掃除や臭い対策等様々な課題があるので、総合的に進めていただきたい。

リカレント教育については、まちづくり協議会と連携しながら周知する方法もあると思うのでお願いしたい。

澤村教育委員

教科指導におけるICT活用や校務の情報化等を重点取組としているが、校務の効率化を図るために、どのようにICTを活用し支援しているのか。

リカレント教育関連講座であるキャリアアップ講座について、どの程度就労に結びついているかは、成果指標にある事務

的職業及びIT関連職業の求人倍率に表れているのか。また、就労を希望している方や様々なキャリアアップを目指したい方のニーズをどのように把握し、また今後の講座に活かしているかと考えているか。

黒木学校教育課指導主事兼指導係長

教職員に対する支援については、ミライム、ゆうnet、スズキ校務等のソフトを使い効率化を図っている。

ゆうnetでは、出張伺・復命書などを、またスズキ校務では、通知表・成績処理・要録作成に活用し、デジタル化後データとして保存できるようになっている。ミライムでは、所属学校職員間のみならず、他校の教職員との間でもデータのやり取りや共有を行うことができる。これまでペーパーで供覧回覧していたものを、ミライムを通じ学校内外で利用する等、これらのICTの活用が校務の効率化に繋がっている。

高崎生涯学習課長

キャリアアップ講座と就労の関連について、成果指標に掲げている求人倍率の目標値は、商工・港湾振興課において行う事業であるため、生涯学習課としては把握ができていない。

生涯学習課においては、就労に向けたリカレント教育の取り組みという位置付けで行っている。その後、より専門的な知識を身につけ、就労に直結する取組については、商工・港湾振興課で行うという棲み分けにしているため、就労に関する具体的な市民ニーズ等も把握ができていない。

中村市長

スマホ講座は市職員で対応しているのか。

高崎生涯学習課長

八代市内の民間会社に委託しており、定員15名までは、講師1名、補助講師1名。定員15名以上になると、講師1名、補助講師2名の体制で行っている。はじめてのスマホ講座については、スマートフォンの知識がほとんどない不慣れな方が多いため、その場合、市職員も複数配備し支援体制を取っている。

(2) 魅力ある博物館づくり

※協議前に博物館バックヤードを見学

松井博物館未来の
森ミュージアム館
長あいさつ

上角博物館未来の
森ミュージアム副
館長

資料により説明

山崎博物館未来の
森ミュージアム副
館長補佐兼学芸係
長

スライドにより説明

<質疑応答>

早田教育委員

2年間の休館中の取組として、出前講座などを企画することだが、どのような内容を予定されているのか。休館中だからこそできる講座というものはあるのか。

山崎博物館未来の
森ミュージアム副
館長補佐兼学芸係
長

具体的な講座の内容は現在検討中である。もちろん、休館中だからこそできるものをとということも考えていきたいが、これまでやってきたなかにも、繰り返しお知らせする内容も多いので、それを幅広い地域に伝えていきたいという思いがある。

早田教育委員

出前講座の実績を見ると、何回も繰り返し依頼される地域がある一方、ここ数年内に依頼がない地域もある。これから新しく出来る素晴らしい博物館へ多くの人に来館してもらえるかは、この休館中の取組によると思うので頑張っていたきたい。

澤村教育委員

映像でも紹介してあったとおり、特別展等の見学に訪れる児童生徒も多く、学校と博物館との関わりを素晴らしく感じた。

熊本県内を見ても、博物館については本市と熊本市にしかなく、これだけの素晴らしい博物館があることが誇らしく、また気軽に行くことができる場所としても、とてもよいと思う。

そこで、休館中に計画されている出前講座・出張博物館については、東陽町、泉町、坂本町など、遠方に在住しなかなか来館することができない児童生徒のために、そういう地域にも出向き、本市全体の歴史文化を学ぶことができるよう、刺激を与えていただけたらと思う。

また、入館者の中には外国人も少なからずあるようだが、今年に入り、クルーズ客船の入港も増えているため、これからますます訪日外国人は増加すると思われる。八代市の魅力ある歴史文化をPRしていくことが外国人入館者の増加に繋がるので工夫して行っていただきたい。

北岡教育長

博物館のSNSは、ホームページやインスタグラム、ツイッター、フェイスブックがあるが、ユーチューブでの配信はあるか。

山崎博物館未来の
森ミュージアム副
館長補佐兼学芸係
長

八代市公式YouTubeチャンネルに掲載依頼し、昨年は4本の動画を手作りし配信した。さらに技術を習得し番組作りを行っていききたい。

北岡教育長

視聴者の興味を引き、来館に繋がるような仕掛けのある番組作りが出来たら面白いと思うので、よろしく願います。

渡邊教育委員

本日の協議にあたって、文化庁文化審議会における博物館法制度の今後の在り方について、審議のまとめに目を通してきた。これを見ると、八代市立博物館の取組は、そのまま魅力ある博物館づくりをされていると感じた。その中でも、これからの博物館に求められている役割・機能について、「守り、受け継ぐ」「わかち合う」「育む」といった観点から、学校教育との連携をととても大事にされていることがわかり感銘を受けた。

先ほどから話題になっている出前講座については、校長先生方への周知がとても大事だと思う。例えば、年に一度、校長園長会を博物館で開催し、会議終了後館内を案内してみてもどうか。本日、バックヤードを見学させてもらい更に関心が高まった。きっと同じように感じる校長先生方も多いと思う。休館中は、この出前講座を周知PRする大チャンスになる。これを機に講座数を増加していくことが、今後の学校教育との連携に大変意義があるものになると思う。また、博物館については学校教科書にも掲載されているので、教科書との関連を展示するのもいいのではと思った。

また博物館や伝承館、八代城址あるいは松浜軒といった、市街中心部一帯の素晴らしい文化ゾーンエリアを一体的に再構築するために、同施設の共通チケットの販売や、全ての施設を観覧するとプレゼントを贈呈するなど、いろいろな工夫ができないかとも思ったところである。

本日、収蔵庫を拝見したが、大変素晴らしく収蔵されていた。博物館は学芸員あってこそだと思っているが、職員数は足りているのか少し心配になった。

上角博物館未来の
森ミュージアム副
館長

教科書との関連物の展示については、さっそく学校教育課とも情報を共有し、知識を得たいと思う。

学芸員については、それぞれの専門分野があり、現在8名が在籍している。令和5年度の職員採用後期試験において、学芸員の募集もされており、どの専門分野の採用となるかはわからないが、現状の人数でやれてはいる。しかし、今後様々な研究を行い、今ある資料を解読しそれを市民に還元していくという

点では人数は多いほうがよい。

中教育部長

学芸員数については、法に規定されている最低人員6名をこれまでも確保してきた。お祭りでんでん館の完成に伴い、民俗の専門学芸員が、兼任という形で博物館から異動した際も、その補充についてはきちんと対応できており、充実した職員数になっていると考えている。

なお、博物館、お祭りでんでん館及び松浜軒の共通チケットについて、1つの施設を利用すると残りの2施設が割引料金となる運用をすでに行っているところである。

渡邊教育委員

素晴らしい取組がされていると感じた。低学年の児童、幼稚園・保育園の園児の来館もあると思うので、体験型の展示などが増えればいいと思った。

中村市長

渡邊委員が言われたとおり、校長先生方に八代市の歴史文化を知ってもらうために、周知を繰り返し行うことで、子供たちに毎年定着して博物館に来てもらえるようになるのではないかと思った。

また、本市には大変優秀な学芸員がおり頼もしく、また博物館の誇りでもあると感じている。今後もいろいろな勉強を重ねながら優秀な学芸員に育てていってほしい。

大規模改修工事については、いよいよ今年度実施設計に入っているが、事業を進める上でこれから課題も見えてくると思うので、早目早目に動いてほしい。県内に本市と熊本市にしかない、この素晴らしい博物館を継続するために、よりよい改修が出来ればいいと感じている。

沖田市長公室長

本日、初めてバックヤードの見学を行ったが、収蔵保管スペースも段々足りなくなっているのではないかと感じた。市長からもあったように、改修にあたっては、よりよい施設に生まれ変われるよう期待している。併せて、収蔵庫の問題等も含めて検討していただきたい。

また、学芸員の人員配置については、今後不足する事態がおこった際には、新たに採用するなど対応していきたい。

松川教育部次長

築32年目を迎え、これまでだいぶ我慢をしての今回の改修となっている。

本日も話題となっている、休館中だからこそできるものについては、自分自身強く感じているところである。遠方の学校に

出向いて行く、あるいは、地域ごとに存在する本市の文化財を、オンデマンドで視聴できるような画像・動画を撮れないかなど、いろいろな構想があるので、職員と相談しながらいい休館の期間にしていきたいと考えている。

田中教育部次長

2年後、更に生まれ変わった博物館になることを市民も期待していると思う。ハード面においても、きれいになったということが実感できるような施設となるよう尽力していきたい。

4 その他

事務局

第2回総合教育会議について（10月～11月の開催予定）

5 閉会

（午後3時30分 閉会）